

3. 経営戦略における取組の進捗状況

基本方針 1 水道施設の強化

< 基幹管路耐震適合率の向上 >

○目標：平成 39 年度までに 50%以上 へ向上させる

実績：平成 29 年度で 24.0%（前年度より 3.9% 向上）

基幹管路耐震適合率 (%)			
年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
向日市実績	18.1%	20.1%	24.0%
指標の説明	耐震適合性のある基幹管路の割合を表しています		
動向	平成 27 年度から積極的な耐震化に取り組んでいますが、平成 28 年度の京都府内の平均値 31.9%、全国平均 38.7% をいずれも下回っている状況です。		

< 物集女西浄水場の耐震化 >

○目標：平成 31 年度までに完了

実績：平成 29 年度 急速ろ過池、酸化池の耐震化を完了

基本方針 2 世代間の公平性の確保

○目標：平成 39 年度の一人あたり企業債残高 5 万円以下

実績：平成 29 年度 4万6,219円（前年度より 670円増）

参考：企業債残高 平成 29 年度 26 億 8,118 万円

企業債残高対給水収益比率 (%)			
年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
向日市実績	223.04%	241.03%	247.03%
指標の説明	給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。		
動向	平成 29 年度も、水道施設の耐震化を進めたことから、企業債の発行額が増加し、前年度より 6% 数値が悪化しています。		

【資料 1 - ④】

基本方針 3 財源の確保

○目標：経常収支比率の維持

実績：平成 29 年度 117.08% (ほぼ前年度と同様)

経常収支比率 (%)			
年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
向日市実績	116.13%	117.11%	117.08%
指標の説明	料金収入等の収益で、受水費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標であり、100%以上となっていることが必要な指標です。		
動向	経営の状況は概ね良好であり、ここ数年はほぼ同様の比率を維持しています。今後も現在の水準を維持していく必要があります。		

○目標：流動比率の 200%以上の維持

実績：平成 29 年度 323.6% (前年度より 68.9%改善)

流動比率 (%)			
年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
向日市実績	253.74%	254.74%	323.58%
指標の説明	1年以内に支払うべき債務に対して、支払うことができる現金等がどれだけあるかを示す指標です。		
動向	継続的な利益の確保により、流動資産はやや増加傾向となっており、数値の改善が図られた。年度末に借り入れる現金の影響も大きく、今後は緩やかに悪化していくことが見込まれます。		